公益社団法人東三河地域研究センター

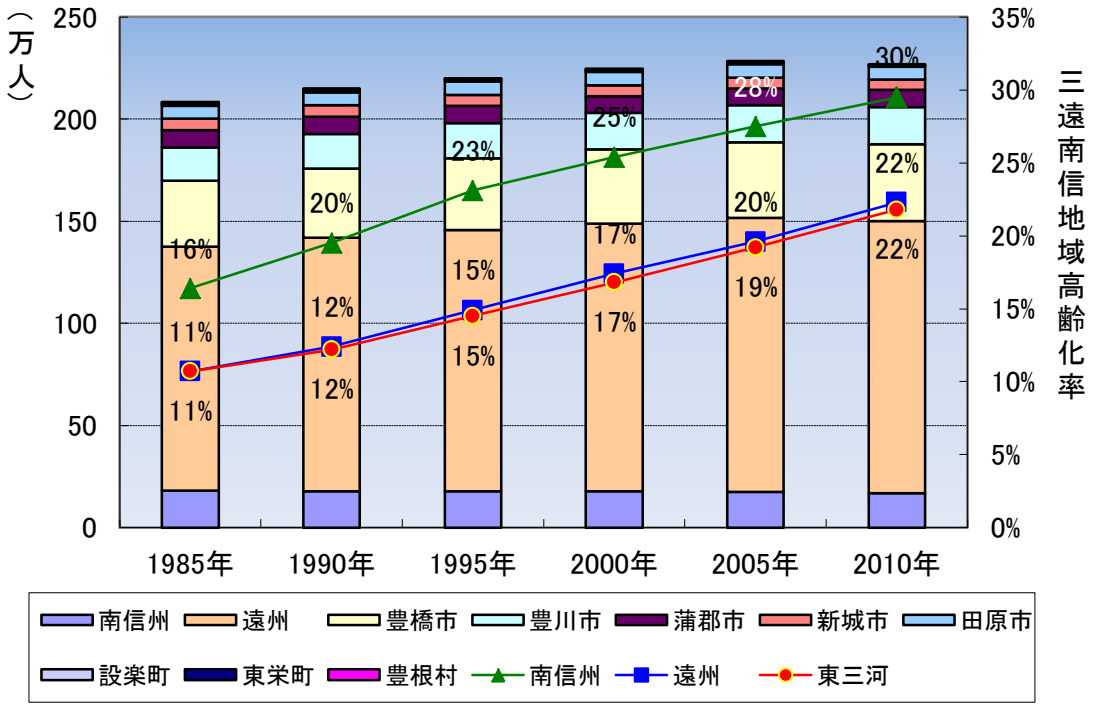
東三河地域の人口

東三河地域の人口

市町村人口の推移は、市町村役場における住民登録を基本としたデータと総務省が全国の家庭を実際に訪問して調査結果をまとめた国勢調査(*1)があり、ここでは、国勢調査のデータをもとに人口(*2)を整理しました。

東三河地域の 2010 年の人口は約 76 万人であり、三遠南信地域全体（約 226 万人）の約 33%を占めています。豊橋市、豊川市の都市部では人口が増加しているのに対し、新城市を含む奥三河地域では人口が減少しています。東三河地域の高齢化率は南信州地域、遠州地域よりも低いものの着実に上昇しています。

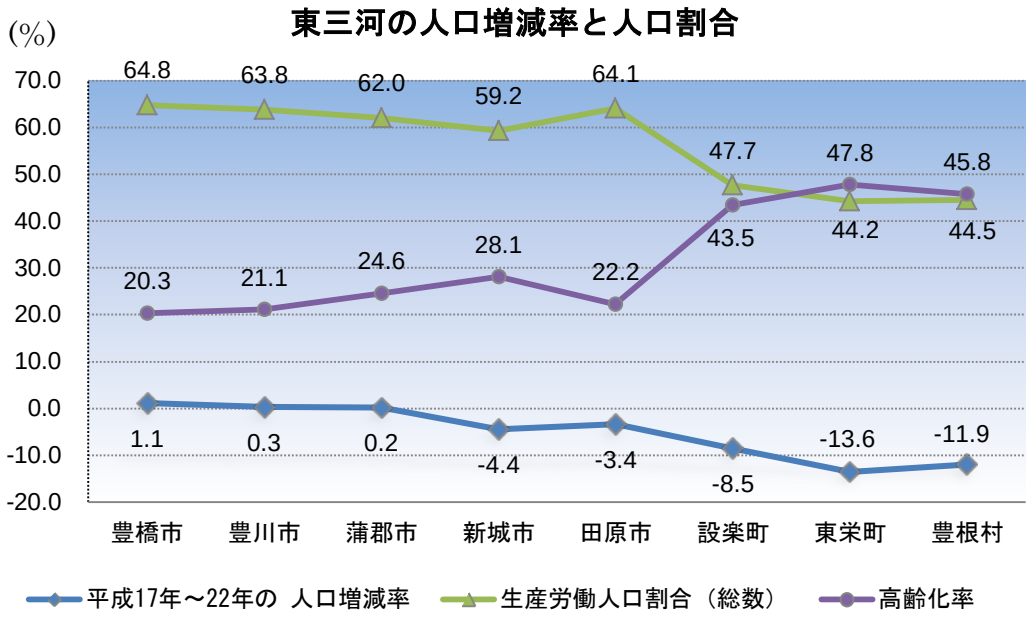
三遠南信地域の人口と高齢化率の推移



出典：国勢調査（総務省）

東三河地域の人口特性

東三河地域の特性としては。豊橋市、豊川市、蒲郡の都市部では人口がわずかに増加しているのに対し、新城市を含む奥三河地域では人口が減少している。また、設楽町、東栄町、豊根村においては生産労働人口の割合が 50%以下と低く、高齢化率についても 40%以上と高い水準と立っている。



出典：国勢調査（総務省）

人口減少以上に進む生産労働力人口

現在、日本は人口減少社会に突入しており、2050 年の人口は約 1 億人となり、現在よりも約 2600 万人低下する中で、生産労働人口の減少は、それ以上の約 2900 万人と予想されている。東三河も例外ではなく、2010 年（約 76 万人）から 2035 年には約 7 万人が減少し、生産労働人口の減少は約 9 万人になり、地域産業の維持・発展を支える人材の確保・定着化が課題となる。

人口予測（国立社会保障・人口問題研究所資料、死亡・出生率は中位水準）

		2010年	2035年	2040年	2050年	2010～2035年	2010～2050年
人口	日本全体	128百万人	114百万人	110百万人	101百万人	▲14百万人	▲26百万人
	東三河下流域4市	70.8万人	65.4万人			▲5.4万人	
	東三河上流4市町村	6.1万人	4.6万人			▲1.5万人	
生産年齢人口	日本全体	82百万人	64百万人	60百万人	53百万人	▲17百万人	▲29百万人
	東三河下流域4市	45.7万人	38.2万人			▲7.4万人	
	東三河上流4市町村	3.5万人	2.3万人			▲1.2万人	